



総数 2 頁の 1 頁
証明書番号XXXX-XXXXX

校正証明書

依頼者	XXXXXX
住所	XXXXXX
品名	XXXXXX
型式又は性能	XXXXXX
製造番号	XXXXXX
管理番号	XXXXXX
製造者	XXXXXX
校正項目	XXXXXX
校正方法	XXXXXX
校正室の環境	次頁以降のとおり
校正年月日	XXXX年 XX月 XX日
校正実施場所	XXXXXX

校正結果は次頁以降のとおりであることを証明します。

XXXX年 XX月 XX日

XX県XXX市XXXXXX丁目X番地X号
一般財団法人 日本品質保証機構
XXXXセンター

センター長

XXXXXX



この証明書は、計量法第144条第1項に基づくものであり、特定標準器（国家標準）にトレーサブルな標準器により校正した結果を示すものです。書面による承認なしに、この証明書の一部分のみを複製して使用することを禁じます。当センターは、ISO/IEC17025:2017に基づく校正機関として認定されています。



1. 校正結果

温度			
標準の値(℃)	被校正品の指示値(℃)	拡張不確かさ(℃)	備 考
20.0	19.9	0.4	

相対湿度			
標準の値	被校正品の指示値(%)	拡張不確かさ(%)	備 考
30	29.8	2.0	
50	49.5	2.0	
80	80.1	2.0	

拡張不確かさは、包含係数 $k=2$ から決定したもので、約 95 %の信頼の水準をもつと推定される区間を定める。

2. 校正条件：

- ・校正は、標準器との比較測定により実施した。
- ・相対湿度の基準となる湿潤空気の温度は、20℃とした。
- ・温度校正は、恒温槽及び標準湿度発生装置を使用し実施した。
- ・湿度校正は、温湿度計を JIS B 7920 に記載された二圧力法の原理による標準湿度発生装置の試験槽に設置し実施した。
- ・校正を実施したときの校正室の環境条件
温度：20.1℃ ～ 25.8℃
相対湿度：48% ～ 56%
大気圧：992 hPa ～ 1006 hPa

3. 使用した標準器等

品 名	型式又は性能	機器番号	製造者名
デジタル温度計			
本体	××××	××××	××××
センサ	××××	××××	××××
二圧力法	××××	××××	××××
湿度発生装置	××××	××××	××××

特記事項： 校正品の受領後、修理及び調整を行わず校正を実施した。

以上